

箕の歴史とその使い方

箕は長い年月に渡り、日本各地の農家で使われてきた大切な農具です。日本書紀(720年・養老4年)や倭名類聚少(931~938・承平年間)に登場するため、源流はさらに古いと推測できます。

ちり取りのような形をしている箕は、主に穀物や豆類の選別に使われてきました。稲



▲箕をあおってワラくずやモミガラを飛ばす



▲穀類の受け具としても使いやすい



▶米袋に米を入れる時も入れやすい

の場合、刈り取った稲穂を干し、脱穀(穀類の粒を穂から取り離すこと)したモミにはごみなどが混ざっています。ここから良質のモミを選び出す際に使われてきたのが箕です。

用途によって穀箕、粉箕とも呼ばれ、穀物の選別のほか、運搬や石臼で粉類を挽くときの受け具などにも使われ

てきました。

木積の箕は、その品質の高さと精巧な作りから、粉も扱える粉箕として、昭和になっても東京周辺の製粉工場などでも多く使われてきました。

箕の考案者ってだれ？



龍頭寺にある「おせん」の墓(右)と碑

木積に箕づくりの技術が伝わったのは、龍頭寺の碑文によると、後村上天皇の正平年間(1346~1367)で、新田義貞の家臣16人が当地に来て、木積村を創立しました。その16人の家臣の1人、加納半兵衛家の「おせん」が、今から三百年前の元禄年間に箕づくりを考案したと伝えられています。

木積の藤箕を使っている人たちの声



鈴木 要^{としみ}巳^みさん
(大浦)

仕事は農業です。木積の箕を昔から愛用しています。今は稲刈りなどでは機械化が進んで、使う機会はほとんどありませんが、精米機への米の投入や、精米後の米を受けるのに使ったり、大豆の選別などに使っています。

なぜ木積の箕を使うかという、プラスチックの箕より使いやすいからです。家にある3つの藤箕のうち、一番古いのは昭和60年製ですからもう24年間使っているんですよ。湿気にさえ気をつければ長い間使える丈夫さも気に入っています。



大川 功^{よしのぶ}修^{しゅう}さん
(八日市場イ)

和菓子店を経営しています。木積の箕は、和菓子作りをする上で、無くてはならない大切なものです。

自分の記憶では先々代から愛用していますから、多分もっと以前から菓子作りに使っていたのでしょう。プラスチックの箕と違って先をすぼめても割れないし軽い。小麦粉を入れても粉が下から漏れない。とても丁寧になられているんですね。

粉類を受ける時には広く使え、袋に入れる時には先が柔らかく曲がる。この弾力性・汎用性が素晴らしいと思います。



龍頭寺の大フジ



圓實寺にある3色の大ツツジ

連休中、木積地区では以下の通り「第9回おせん様のふじ祭」が予定されており、八日市場駅からは下表の通り無料シャトルバスも運行されます。

ふじ祭の期間中、同地区内では、箕づくり体験教室など

連休中はふじ祭りへGO!

● 産業振興課 ☎ 73・0089

1514、無料シャトルバス

ふじの会」代表 行木 光一 ☎ 73・1514

圃ふじ祭…「福箕とふじの里

が行われるほか、300本のフジが咲き競い、龍頭寺の大フジや圓實寺の大ツツジも見ごろを迎えます。

また、国指定重要文化財である講堂・鼓楼・鐘楼・総門を抱える飯高檀林跡（飯高寺）へも立ち寄られてはいかがでしょうか。

帰路は年間入り込み客数129万人を誇る「ふれあいパーク八日市場」で地元の新鮮野菜や手作り味噌などの加工品を買うことができます。



箕づくり体験教室の様子

第9回おせん様のふじ祭イベント日程表

日 程	時 間	イ ベ ント 内 容
5/1(金)	9:00	地区特産品販売
	10:00	木積箕づくり保存会藤細工体験
5/2(土)	10:15	村内16苗子供みこし・重要文化財指定祝賀パレード
	11:30	子供たちと焼きそばづくり
	12:30	箕づくりの実演と体験教室
	13:30	箕を使った「米運び競争」芸能発表 歌と踊りのショー（岡田教室・扇友会ほか）
	14:30	山野みどり・松山裕二ショー
	15:30	藤の里音頭
5/3(日) ～10(日)	9:00	地区特産品販売
	10:00	木積箕づくり体験教室

無料シャトルバス時刻表 (運行日: 5/2～5/5)

バス停留所	1便	2便	3便	4便	5便	6便
JR八日市場駅 発	9:50	10:50	11:50	13:40	14:40	15:40
↓						
豊栄コミュニティセンター(木積)	10:05	11:05	12:05	13:55	14:55	15:55
↓						
飯高檀林跡駐車場 発	10:20	11:20	12:20	14:10	15:10	16:10
↓						
ふれあいパーク八日市場 着	10:30	11:30	12:30	14:20	15:20	16:20
” 発	10:30	11:30	13:20	14:20	15:20	16:20
↓						
JR八日市場駅 着	10:45	11:45	13:35	14:35	15:35	16:35



福箕とふじの里ふじの会 代表 行木 光一

皆さまのご来村を
お待ちしております

本年も、地元木積のふじ娘さんたちをはじめ、各方面よりのご協力で「第9回おせん様のふじ祭」を開催できますことを感謝申し上げます。

おせん様の考案された300年の歴史を誇る伝統工芸品「木積の藤箕」が国の重要文化財に指定されました。

そのお祝いとして5月2日10時15分から村内祝賀パレードと、龍頭寺「おせん様の墓」にて文化財報告法要と奉納踊りを行います。

また、イベントの中で箕を使った「米運び競争」を行います。箕の良さである「運ぶ・入れる・取る」を組み合わせた楽しいゲームです。これらのイベントを通して「木積の藤箕」の伝承につながっていくことを願っています。

皆さまのご来村をお待ち申し上げます。